

# 令和4年度 学校関係者評価報告

※評価の基準 4:十分達成された 3:概ね達成された 2:やや不足な点がある 1:ほとんど達成されていない

評価項目	評価指標	学校自己評価コメント	令和4年度 自己評価 (平均)	令和3年度 自己評価 (平均)	学校関係者 評価	学校関係者評価コメント
1 踏障 まが えい たの 専状 態性 の特 高性 い等 教を 育	1-① 児童生徒や保護者のニーズに応じた個別の指導計画を作成し、指導に活用している。	○ 本年度は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつ、体育大会や文化祭、修学旅行などほとんどの行事を学部別実施など形態を工夫しながら、予定どおり実施できた。また、長期の臨時休校措置も実施されなかったことから、学習活動も計画どおり実施できた。  ○ 児童生徒の実態把握をしっかりとした上で作成した個別の指導計画に基づく教育活動の展開に、年間をとおし努めることができた。また、タブレット等ICT関連の教材・教員の活用や工夫に重点的に取り組んだ。	3 (3.2)	3 (3.1)	4 (3.6)	○ 新型コロナ対策を十分に行いながら各種行事に取り組みされており、子供たちの学びの機会の充実が図られていた。  ○ コロナ禍において学校行事や学習活動がほぼ予定どおり実施できたことは、日々の教職員の取組の成果だと評価できる。参観した10月の文化祭や作品展示については、大変充実していた。  ○ 長期展望のもと、児童生徒に必要な力を身に付けさせるために教育活動の内容・方法を見直し、工夫改善を重ねながら、専門性の高い組織的な教育活動が展開されている。  ○ 「みや中央」に向けてのテーマを意識した一連の指導の中で、児童生徒の主体性が発揮できる活躍の場が設定されており、一人一人に応じた粘り強い指導が展開されていると思われる。児童生徒の伸び伸びとした表情や作品発表のレベルの高さに感激した。
	1-② 根拠に基づく指導が行われるよう、実態把握や指導計画の作成、評価を行っている。		3 (3.2)	3 (3.1)	3 (3.4)	
	1-③ 学習効果を高めるために教材・教具の工夫や改善を行っている。		3 (3.2)	3 (3.2)	3 (3.2)	
2 的 組様 織々 的な で課 柔題 軟に 性対 の応 あし るた 教計 育画	2-① 学校、家庭、寄宿舎が連携して効果的な指導を行っている。	○ コロナ禍でまだまだ制限が多い中でも、子供たちは比較的落ち着いて学校生活・寄宿舎生活を過ごしている。適宜ケース会を開催し共通理解するなど、学校、家庭、寄宿舎で連携して取り組めた。  ○ 職員研修については、外部講師を招聘し、ICT活用や発達特性に関する研修などタイムリーな専門研修を実施できた。今後も職員の資質向上につながる研修に、積極的に取り組んでいきたい。  ○ コンプライアンスに関する研修を年2回実施し、学校全体でコンプライアンス推進に取り組んだ。	3 (3.2)	3 (3.2)	3 (3.4)	○ コロナ禍だが子供たちも落ち着いて生活している様子が伺われる。これも職員の日々の指導や対応の成果ではないかと思われる。  ○ 学校来校時に接する子供たちは、のびのびとしていて落ち着いている印象を受けた。これは、学校・保護者・寄宿舎が連携して子供たちを育てている成果だと思われる。  ○ 専門的な研修やコンプライアンス研修・ICT研修、教職員のニーズや学校の教育的課題に応じたタイムリーな職員研修が展開されている。今後とも職員研修を積極的・計画的に取り組み、職員の資質向上に努めてもらいたい。
	2-② 課題研究の内容は適切で、今後の指導に役立てるための研究になっている。		3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	
	2-③ 職員研修の内容は適切で、専門性や資質の向上を図っている。		3 (3.1)	3 (3.0)	3 (3.4)	
3 小中 高一 貫した キャリア 教育	3-① 児童生徒の自立と社会参加を目指し、小中高一貫したキャリア教育の推進している。	○ PTA総会や保護者全体会、学級懇談などを予定どおり実施できたことにより、保護者は子供たちの様子を直接参観できる機会が昨年度より多くあったように思う。一方コロナ禍のため行事については学部別での開催が多く、他学部を知る機会がなかなか確保できていない。  ○ 進路に関する情報収集の場として施設説明会を開催し、多くの保護者や生徒に将来の進路に関する理解を深めることができた。また、就労している卒業生をお呼びし、学校と職場の違いや就労しての苦労などを在校生に直接伝える機会を設けることができた。	3 (2.9)	3 (2.8)	3 (3.2)	○ 実際に就労している先輩を招いて直接話を聞くことができる取組は、大変意義のあるものである。今後も継続してもらいたい。  ○ 大規模校なので、コロナ禍において他学部を知る機会の確保が不足気味になるのはやむを得ないと思われる中、可能な限りの進路学習等の機会が設けてあることは、子供たちにキャリア教育や進路指導を行っているとは評価できる。  ○ スポーツや文化活動(高文祭、みや中央祭、共生アート展等)での生徒の活躍の場が素晴らしい。新たな才能の開花や生きがいづくり、就労、自立支援の充実につながると思う。  ○ 卒業後の就労などの進路支援は難しい部分もあると思うが、今後ともさらに充実を図ってほしい。
	3-② 個々のニーズに応じた進路指導や進路相談等を行っている。		3 (3.1)	3 (3.0)	4 (3.6)	
	3-③ 保護者や関係機関と連携した進路支援の充実を図っている。		3 (3.1)	3 (3.1)	3 (3.4)	

## 令和4年度 学校関係者評価報告

※評価の基準 4:十分達成された 3:概ね達成された 2:やや不足な点がある 1:ほとんど達成されていない

4 地域報 から発 信信 頼及 さび れる 保護 者学 校や づく り	4-① 地域の資源や人材を生かした学習活動に取り組んでいる。	○ 英語活動でALTをお呼びしたり、防犯関連で警察の方に講話いただいたりしたことに加え、文化、芸術等の専門家を招へいして音楽・美術等の教育活動と一緒に取り組むなど、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつ、多くの地域資源や人材を生かした学習活動の実施に努めることができた。学校間交流や居住地校交流をほぼ計画通り実施することができた。	3 (2.8)	3 (2.6)	3 (3.2)	○ 様々な多くの地域資源や人材を生かした教育活動に取り組みされており、よりよい学習活動の提供がなされている。先生方の大変な努力の成果であると思われる。  ○ 「第1回ゆめいろステーション」での児童生徒の作品は素晴らしく、教育活動の発信の場になった。このコロナ禍での新規事業への挑戦は、学校の教育力の向上や保護者・地域からの信頼につながったと思う。大きな成果であるこの取組を、今後につなげていってほしい。  ○ ホームページの充実が図られており、学校の教育方針や取組、児童生徒の様子をわかりやすく発信しており、信頼される学校づくりにつながっていると思われる。  ○ 地元や住民から認知され愛される支援学校になるよう、より一層取り組んでいってほしい。
	4-② 保護者や地域に学校の取組や必要な情報を伝えている。	○ 保護者による研修会も参集形式で実施する回数が徐々に増えつつある。依然として、新型コロナウイルス感染症の流行状況をにらみつつの取組となっているが、保護者や地域に少しでも学校の取組や必要な情報を伝えられる機会が増えるとよい。	3 (3.1)	3 (2.9)	3 (3.0)	
	4-③ 近隣の小中学校等との学校間交流や居住地校交流を推進している。		3 (2.9)	3 (2.9)	3 (3.2)	
5 の地 域の タ特 ー別 的支 援能 力教 育	5-① 特別支援教育に関する相談や情報提供を行っている。	○ チーフコーディネーターが中心となり、地域の学校等に出向き必要なアドバイスや助言を行うことができた。一方、相談件数が多くチーフコーディネーターへの負担が大きい面が見られるため、教育支援部を中心とし学校全体で分担して対応するなどの工夫も必要であると思われる。	3 (3.2)	3 (2.9)	3 (3.2)	○ 教育相談、情報提供が充実しており、近隣学校や地域への特別支援教育の理解啓発につながっていると思われる。  ○ 今後も地域における特別支援教育のセンター的役割は重要度が増していくことが想定される。その業務を担える職員の育成や関係機関との連携強化を、さらに充実していってほしい。また、学校全体として取り組むことにより、教員全体の資質向上にもつなげてほしい。  ○ 以前からチーフコーディネーター業務の大変さはお聞きしている。学校全体でチーフコーディネーターをフォローできる体制づくりもお願いしたい。
	5-② 福祉や医療機関等、関係機関との連携を図っている。	○ 家庭支援が必要な児童生徒については、医療・福祉等の関係機関と情報共有するなど連携ができています。今後も関係機関と密に連携を図りつつ取り組んでいきたい。	3 (3.2)	3 (3.1)	3 (3.4)	
6 の安 全備 ・安 心な 教育 環境	6-① 施設や設備は安全に管理・維持されている。	○ 火災や地震の避難訓練、不審者対応訓練、引き渡し訓練を実施し、緊急時の対応を全職員で確認した。もしもに備え適宜必要な訓練を今後も実施し、安全意識の醸成に努めていきたい。福祉避難所についても、指定に向けて課題等を整理していきたい。	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.2)	○ 安全で温かみのある環境が整えられており、児童生徒の発達段階に応じた必要な情報の掲示がなされており充実している。  ○ 火災・地震の避難訓練が計画どおり実施されているなど、様々な場面を想定した訓練に取り組まれていることが分かった。今後も改善・充実を図りながら保護者や関係機関と連携しつつ、必要な訓練・研修を計画的にしっかりと取り組んでいってほしい。  ○ 施設の老朽化については、定期的な点検とともに、年次的な改修計画を作成して適切に対処してもらいたい。
	6-② 災害や不審者対応等、緊急時の対応が整備されている。	○ 施設自体が老朽化している箇所もあるため、施設設備の点検を定期的に行い、安全・安心な教育の場となるよう努めた。	3 (3.2)	3 (2.9)	4 (3.6)	